

**【ソフィアコミュ塾】
実務に生きるロジカルシンキング
公開講座開催（第0期）のご案内**



2025年10月

株式会社ソフィア

Copyright © Sofia, Inc. All rights reserved

ソフィアの公開講座へようこそ！

【ソフィアコミュ塾】へようこそ！
これから皆さんと一緒に学んでいく
花田秀丸（通称はなまる）です。

ロジカルシンキングは決して難しいもの
ではありませんが、頭だけでなく手を動
かす実践の繰り返しが欠かせません。

3日間一緒に大いに汗をかいて、その後
の皆さんの仕事に生かせるものにしてい
きましょう。



実務に生きるロジカルシンキング



日程

第1回	2025年11月14日（金）	10：00～17：00
第2回	2025年11月26日（水）	10：00～17：00
第3回	2025年12月10日（水）	10：00～17：00

場所

TKP田町駅前カンファレンスセンター
カンファレンスルーム11C

東京都 港区芝5-29-14 田町日工ビル

JR線 田町駅 三田口(西口) 徒歩5分
都営地下鉄 三田駅 A3出口 徒歩4分

費用

200,000円
(3日間の参加費、教材費、事前課題視聴費用含む)

こんな悩み
解消します



- ・ロジカルシンキングの研修をやったが使えるようになっていない
- ・社内会議で発言がない、建設的な議論にならない、結論が出ない
- ・AI時代にも大いに活躍できるコミュニケーション力をつけたい
- ・正解がない課題にも果敢に取り組む姿勢と実行力が欲しい

この公開講座で目指すゴール

図解/MECE/ならべる

論理的思考の主な手法の活用を
実戦的に経験して、データの取り扱い
に自信を持てるようになる



ディスカッション

全体最適の視点で相手のことを理解
しながら、意思決定につながる議論が
できるようになる



三角ロジック

試行錯誤しながらゴールにたどり着く
旅路を体感し、自分自身の業務への
活用シーンをイメージできている



チームの規範変革

議論ができない組織やチームの問題
(抵抗)を解決しようとする意識が
生まれ、打ち手が見えている



ソフィアのロジカル・シンキング研修の全体像



個人学習（自学自習）



集団学習（ソーシャルラーニング）

Learn365. 2週間



3日間（対面）

事前学習



事前視聴動画

思考とコミュニケーションに関する基礎知識のインプット

イントロダクション

- 1 実践活用ガイド（目的、ゴール、現状把握）

思考編

- 1 図解で整理する（ベン図、ツリー、マトリクス）
- 2 MECE
- 3 ならべる

コミュニケーション編

- 1 議論の技術：三角ロジック
- 2 職場の規範とその変革
- 3 データリテラシー
- 4 具体と抽象（解像度向上）

集合研修



- ・ 事前課題でインプットした「思考」と「コミュニケーション」を、実践で使えるようになるためのトレーニングに集中特化
- ・ 「離職防止プロジェクト」に参加し、課題達成のためのチーム内合意形成を目指す。
- ・ 参加を通して得られた気づきや学びをチームで「実践Tips」としてまとめ、研修中とは異なる自職場という環境での実践適用につなげる

3日間の流れ

1日目

- 1 事前学習の振り返り
- 2 必要なデータの収集、整理（取捨選択）

2日目

- 1 社内プロジェクトへの参加。
 - ・ 準備
 - ・ 参加/挑戦
 - ・ 振り返り
 - ・ 再準備

3日目

- 1 プロジェクトMtgのクロージング
- 2 実践で得た学びや気づきを言語化（実践Tips作成）
- 3 自職場での実践に向けた課題形成とアクションプラン



ストーリー展開のケースメソッド

- ▶ 事前学習～集合研修は同じストーリー（架空の食品会社での事例）を元にケースを展開することで、登場人物やストーリーの背景や文脈の理解を促進



総合演習課題

集合研修におけるディスカッションのロープレに向けた事前準備

今回の公開講座の範囲



1～2か月



インターバル期間



職場の支援者との振り返り

職場の支援者（上司や同僚）と振り返りの継続



職場での実践

集合研修中に立てたアクションプランを自職場で実践



講師相談

Teams専用チャネル
講師相談室
（個別の自走支援）
ChatBotでの対応（準備中）

1日



振り返り研修



- ・ インターバル期間の実践の振り返り

- ▶ 受講者同士での相互フィードバック
 - ▶ 実践Tipsの追加修正～異なる場面への適用可能性についてディスカッション

- ・ 自職場での実践に向けた新しいプランの作成

- ▶ 振り返りを踏まえた職場での課題形成

研修終了後

修了者コミュニティ



当研修修了者同士での自発的学習継続支援



各自での職場実践継続



課題形成

実践

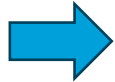
振り返り

のサイクルを回し続ける

数多あるロジカルシンキング（本や研修）がうまく生かされない理由

1 そもそも論理的思考を身に着けるには時間がかかる

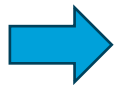
- ロジカルシンキングはビジネスパーソン必須の基礎スキルで、手法パッケージではありません。生涯を通して研鑽し続けて身に着けるもので、1日や2日で習得できるようなものではありません。



完ぺきではないが「仕事で使える」レベルへの到達を目指します。
あとは仕事などで実際に使う機会を確保してさらにレベルアップを促します。

2 「論理」だけでは仕事にはつかえない

- 「論理」は問題に関連する広範な知識・スキルと一緒に使うもので、そもそも論理だけでは答えが出ません。「机上の空論」、「理想論」といわれるような実用性のない結論に達することになりかねません。
- ビジネスで起こる人間間の感情問題は、パフォーマンスに極めて大きな影響を及ぼします。「理屈はそうかも知れないが納得できない」、「面子を潰された」、「軽視されている」など。感情面を捉えない仕事はうまくいきません



論理的な「思考」面だけでなく「コミュニケーション」スキルもカバーし、組み合わせて使うことで「使える」ようになることを目指します。

3 具体的でないと仕事はできない

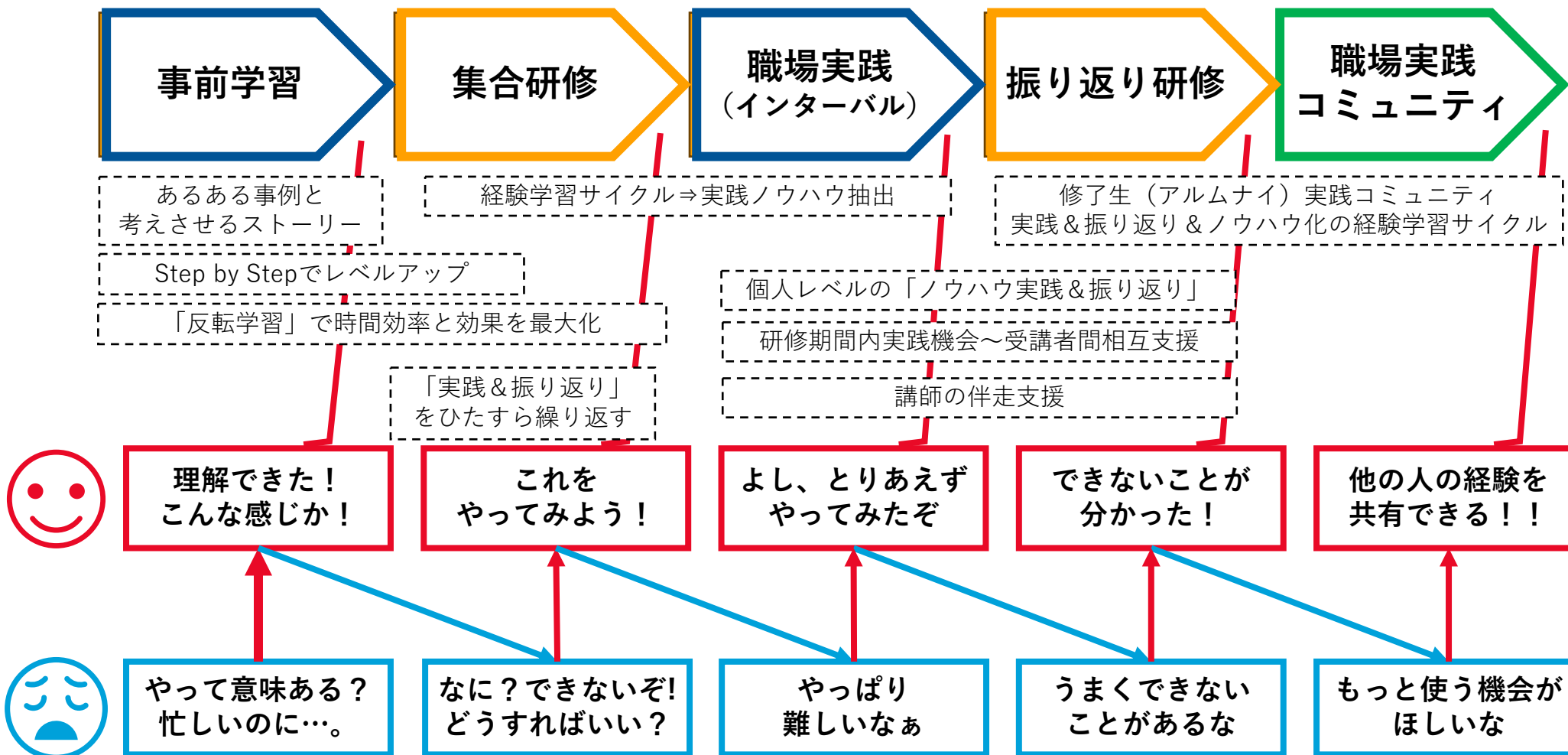
- 理論は具体化しないと使えませんが、状況は千差万別、課題や状況によって変わり、こうすれば常にうまくいく方程式はありません。
- 一方、現実の時間制約の中で、必要な具体性の追求がおろそかになり、それが成果の質を下げてしまうのです



実際に起こりそうなケースにメンバーとして参加し、繰り返し実践することで、「何をどこまでやればできるようになるか」体感的に理解していただきます。

「使える」ようにするための仕掛け

ロジカルシンキング研修プロセス



受講者経験プロセス (思考と感情)

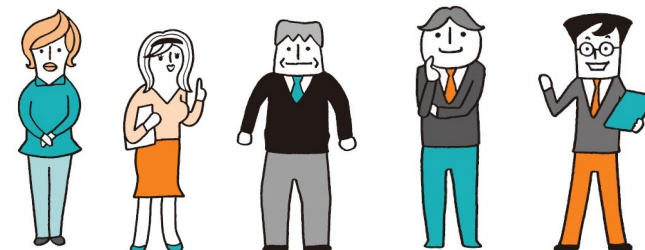
集合研修：思考と議論の実践を繰り返す

反転学習で時間
効率と効果を最大化

「実践&振り返り」
をひたすら繰り返す

- 昨今多くの企業で共通の課題となっている「若手早期離職防止」をテーマとした、部門横断型プロジェクトが舞台。
- 受講者全員がチームに分かれて、4回の会議でプロジェクト・ゴールの達成を目指します
- 会議の「準備」⇒議論の「実践」⇒「振り返り」を繰り返しながら、ロジカルシンキングを体得できます
- 登場人物たちが進めるプロジェクトの経過を都度動画で紹介し、受講者たちの体験と比較することで、振り返りにおける気づきと学びを促進します
- 反転学習により、基本的なインプットは事前学習で行います。集合研修では、受講者が直接参加する、双方向型の実践演習（ディスカッションや振り返り等）に集中特化します
- きめ細かく振り返りを行うことで、個人とチームの課題を都度明確にしながら、レベルアップを図ります

若手早期離職防止 プロジェクト



事前学習

プロジェクトに参加する
若手メンバーの立場で、
第1回会議の準備をする

集合研修1日目

第1回会議結果
(動画視聴)

第2回会議の準備
・資料データ整理分析

ミニレクチャー
1日目振り返り

集合研修2日目

第2回会議への参加
と振り返り
(チーム&個人)

第3回会議準備と参加
・追加資料整理
・プレゼンテーション
・振り返り

第4回会議準備
・追加資料整理

集合研修3日目

第4回会議への参加
と振り返り
(チーム&個人)

全体振り返り
・振り返りからノウハウ抽出
(チーム&個人)

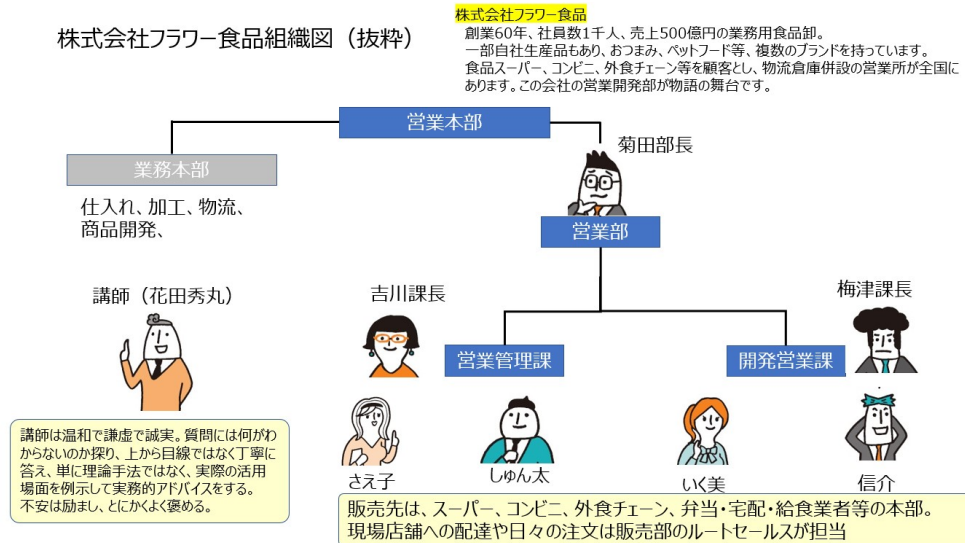
事前学習動画：リアルな問題事象が満載

- あなたの隣にいなうな、親しきを感じる登場人物たちが繰り広げる「あるある」エピソード動画
- どこにでもありな問題を、若手社員と研修講師が掛け合いの中で解決策を模索していきます
- 基本的な事項からスタート。無理なく理解が進みます
- 受講者の都合に合わせて、いつでも、何度でも視聴ができます
- ロジカルシンキングの手法だけでなく、人の感情にも気持ちを向けコミュニケーションしていくことの重要性を、体感的に理解することができます
- 集合研修でも同じ組織を舞台としますので、改めて背景を理解し直す負担はありません

あるある事例と
考えさせるストーリー

Step by Stepで
レベルアップ

株式会社フラワー食品組織図（抜粋）



【ロジカルシンキングを使う3つのコツ】

さて、仕事の基本でもある3つのコツを確認していきましょう。

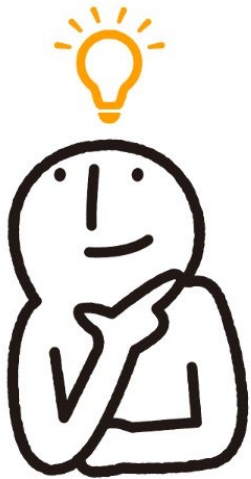
20



実践への適用、応用を目指して

経験学習サイクル ⇒実践ノウハウ抽出

- 本研修で得た「経験」をそのままに放置してしまっ
ては「使えるノウハウ」とはならず、再現性は期待
できません
- 経験学習プロセスを踏まえ、研修中の体験を振り返
ることから、ノウハウの抽出（概念的抽象化⇒仮説
化）を受講者が自分たちで行います。
- 異なる課題や事情を抱えるそれぞれの職場に
戻って、自分自身の仕事にどう生かすかを考え、
次のインターバル期間に実践を行います



経験学習サイクル～振り返りからTips抽出、 そして実践へ

